

耐擦傷性 (リアテックコート グロス/マット)

試験方法

- ①学振型磨耗試験機を用い、スチールワール(#0000)にて所定の荷重、磨耗回数にて磨耗後、表面の状態を観察、評価する。
- ②真鍮ブラシで表面を擦り、目視でキズ付き度合いを確認する。

基準・結果

- ①瞬時に復元。

	200g荷重 10往復	500g荷重 10往復	500g荷重 50往復
グロスタイプ	◎	◎	○
マットタイプ	◎	◎	○
一般タイプ木目	×	×	×

◎…瞬時に復元 ○…ややキズが残る ×…キズが残る

- ②瞬時に復元。

	試験前	試験後	結果
グロスタイプ			◎
マットタイプ			◎
一般タイプ 木目			×

※上記写真は代表品番による当社評価試験結果であり、製品の性能保証ではありません。